

紫友会会員の皆様、日頃より紫友会活動にご協力賜り、ありがとうございます。「紫友」が途絶えることなく当たり前の様に発行続けていられること、ただただ感謝です。

私事ですが、遅まきながら昨年一人目の孫を迎えました。血縁が続く事を嬉しく思うと同時に、悪い所は受け継がずに良い所を受け継いでもらいたいと思っています。

先日、「パーパス」という言葉を耳にしました。ご存知の方も多いと思いますが、企業や組織の理念存在意義を指す言葉で、会社の企業理念に社員個人の「パーパス」なりた「自分」ありたい姿を見出し、モチベーション高くその会社で働いていこう!といった主旨で注目されている言葉だそうです。私は、パーパスと聞いて、すぐに筑紫女学園の校訓を思い浮かべました。中学入学時に、私は、「自律、和平、感恩」という言葉に触れ、それ以来ずっと私の心にあり、私を導いてくれる言葉だと思っています。より自分の核に近づけて言葉にすると、「良き人、良き子、良き妻、良き母、良き友でありたい」、これが私のパーパスと言えそうです。

私のパーパス、私に影響を与えた筑紫女学園の校訓、少なからず私の家族にも引き継がれていると信じて、それがその先にもずっと続いて欲しいと願っています。

紫友会に属する皆様、皆様のパーパスにもきっと「自律、和平、感恩」が影響を与えていることでしょう。長く後世に引き継がれることを願っています。



筑紫女学園大学 同窓会
紫友会 会長
石川 昭子

自律、和平、感恩



題字 本学園元顧問
故 干潟 龍祥先生書



紫友会事務局

〒818-0192
太宰府市石坂2丁目12-1
筑紫女学園大学内
飛翔会館2F
TEL&FAX (092-929-4603)
[月～金 10:00～16:00]
印刷(有)森田印刷所

今だから、思うこと



学校法人 筑紫女学園
理事長
杉山 眞乗

「みなさん、お元気ですか」。私もおかげさまで、毎日元気に通院しております。生老病死、ことに老と病はセットになっています。今の文を読んでおられる方の中には、字が小さくて見えない、ことに込み入った漢字などは、拡大鏡がないと見えないよと嘆いておられる方もおられるでしょう。確かに、若い時分には、苦もなく見えていたものが、見えづらくなります。そればかりではありません。五体も思うようには、動かなくなります。その上、五臓六腑いたるところに障りが出てまいります。亡くなった母がよく申しております。「一年を取ると初めて経験ばかり」、足があらがらない、ものを忘れる。今頃、母の申したことは本当だと思知らされます。

それでも現代では、健康寿命とって元気で長生きすることが、理想のようにもはやされます。でも、長生きして何をするのでしょうか。友達が「不良長寿」と言っていました。

長生きしたもの、暇をもてあまして、テレビを見て旅行に出かけたりして、暇つぶしをする。目的のないズベンタラリの生活。私も考えました。ことに年を取って大事なことは、使命感を持って生きることだ。果して、それが成しとげることが出来るかと言う結果はどうあれ、我が人生に道が出来る。私の人生に意味をもたせる。今は申し述べる事が出来ないませんが、私はこれで生きて、これで死のうと思います。皆様も使命感を!

第56回紫友会総会御案内

日時 / 5月20日(土) 11:00～15:00
受付開始時間 10:30～

場所 / 筑紫女学園大学 飛翔会館
太宰府市石坂2-12-1
3Fスクワーヴァティーホール・7号館カフェレストラン

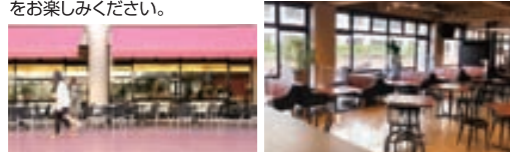
会費 / 3,000円 新卒会員 無料

第一部 / 総会 11:00～11:30
会計報告・事業報告・その他

第二部 / 公演 11:45～12:45

筑紫女学園大学民族舞踊研究部
7号館カフェレストラン前の広場で開催!
<雨天の場合は飛翔会館3Fスクワーヴァティーホール>
<ご紹介は6面に掲載>

第三部 / 懇親会パーティー 会食 13:10～15:00
中庭を使つてのガーデンパーティーとカフェでのコーヒープレイクをお楽しみください。



出席予定の先生方 (敬称略) 2月15日現在の出席予定

- | | |
|----------------|--------------|
| 【理事長】 杉山 眞乗 | 【学長】 中川 正法 |
| 【副学長】 小野 望 | 【文学部長】 時里 奉明 |
| 【人間科学部長】 松本 和寿 | 【事務局長】 西村 慎一 |
| 【事務長】 平井 和宏 | |
| 【現教員】 小林 知美 | 竹熊 真波 |
| 宮平 喬 | 大西 良 |
| | 岡本 文子 |
| 【旧教員】 石橋 美恵子 | 大西 隆信 |
| 山之内 輝美 | 永淵 道彦 |

- *今回当番幹事は短大36回生、大学文学部11、31、32回生、大学人間科学部8、9回生、大学現代社会学部4、5回生、大学院14、15回生です。
- *お車でお越しの方は、学内に駐車できます。
- *当日は学内見学が可能です。(10時～16時)
- *西鉄電車ご利用の方は、西鉄太宰府駅よりスクールバスを運行しますので、ご利用ください。(10時～16時ヒストン運行)

● 締切日(5/1)以降の申し込みおよび変更は紫友会迄 (TEL&FAX092-929-4603)

会場の都合がありますので、事前のお申込をお願い致します。出席申込を頂いた方で当日連絡なく欠席の場合は、恐れ入りますが後日紫友会宛に会費をお振込みください。

- 振込先
- | | | |
|---------------|------|---------------|
| ゆうちょ銀行 | 当座預金 | 一七九(イチナナキュウ) |
| 口座番号: 0044769 | 179 | 筑紫女学園大学同窓会紫友会 |

開催にあたりましては、皆さまの安全を考慮して保険への加入をしております。また、コロナウィルスの感染防止策も徹底したいと思っております。ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

紫友会事務局だより

第55回(令和4年度)紫友会総会報告

コロナ禍で開催できなかった紫友会総会が3年ぶりに開催されました。第55回紫友会総会は令和4年6月11日(土)筑紫女学園大学に於いて行われ、当日は生憎の梅雨空でしたが、たくさんのお来賓や同窓教員の皆様にご参集頂きました。

第一部の総会では、令和3年度(2021年度)活動報告と会計報告、令和4年度(2022年度)活動計画(案)と予算(案)の各議案が承認されました。また、紫友会学生会支援奨励金の授与式が行われ、東日本大震災ボランティア栗山ゼミナールに奨励金が授与されました。

第二部は、筑紫女学園大学ガムラン部&ガムラングループ「ブラティウイ」によるガムラン演奏会。この日の為に作曲頂いた曲や校歌の演奏など、荘厳なガムランの調べが心に染みるひと時でした。

第三部は懇親パーティー。大学内学食のリングラッツェンによる美味しいお食事を堪能しました。会場内では、ネパールボランティア参加学生によるグッズ販売も盛況でした。コロナ感染予防対策をしながらの、少し窮屈な開催ではありましたが、来年もたくさんのお来賓が笑顔で再会出来ることを願いながら、第55回紫友会総会は盛会にて終了しました。



ガムラン演奏会

総会議決内容	第一号議案:令和3年度 活動報告	第三号議案:令和4年度 活動計画
	第二号議案:令和3年度 会計報告及び監査報告	第四号議案:令和4年度 予算

当番幹事について

2024年、第57回紫友会総会の当番幹事は下記の方です。

- 2003年卒 短大37回生
大学12回生
- 2023年卒 大学文学部32回生
// 人間科学部9回生
// 現代社会学部5回生
大学院15回生
- 2024年卒 新卒幹事

事務局よりご案内のハガキを送付致しますので幹事会にご出席頂きますようお願い致します。

役員紹介(令和4年度)

会 長	石川 昭子	短・家政2
副 会 長	伊 佐 元 子	短・家政1
〃	笹 湖 美 幸	短・英文19
会 計	仲 野 抄 子	短・国文2、文・日文21
〃	村 上 由 紀 美	文・英語2
書 記	酒 井 由 美 子	文・心理15
常 任 幹 事	加 藤 千 代	短・家政2
〃	森 山 ク ミ 子	短・家政2
〃	清 川 久 美 子	短・家政5
〃	阿 部 美 樹	短・家政30
〃	安 田 香 織	短・家政20
〃	矢 幡 聡 子	短・家政24
会 計 監 査	藤 尾 知 子	短・家政13
〃	鈴 木 萌 子	文・メディア24

紫友第42号“こんにちは”の原稿を募集します。

次号のテーマは「今を生きる。」を予定しています。原稿は400字程度。また、皆様の近況や思い出等お寄せください。(写真やイラストも可)寄せられた原稿は原則として、返却しません。紙面都合上、全てを掲載できない場合もありますので、ご了承ください。(メ切令和5年12月末日)

お 願 い

卒業時の住所データ及び返信書書に書かれた住所が会報誌「紫友」発送の資料となります。個人情報と同窓会活動以外では使用致しません。「紫友」が届かない方には、事務局までお知らせ頂きますようお願い致します。また、住所が正しくてもご本人様不在の場合は、宛先不明でお届けできない事もあります。確実に発送できますように、住所変更のご協力を願っています。なお、名簿の管理には充分慎重を期しております。紫友会事務局以外から同窓生へ連絡することはありません。

あ げ が き

コロナ禍も4年目になり、日常が戻ってきています。大学も授業や在学生の活動が、ほぼコロナ前に近い状態になってきました。突然の自粛生活で授業がオンラインになり学生の姿が大学から消えた時から考えると「学生がいてこそ大学だなぁ」と、学生たちにはのびのびと様々な活動をしてほしいと、応援する気持ちです。

紫友会では在学生への食糧支援や奨励金・奨励金給付を行なっています。これらは皆々からの会費や協力金等の寄付金もとなり実現できていくことです。物の値段が上昇している昨今ですが、事務的な経費を抑えるために新しい工夫をしながら、今後もより良い紫友会の活動を行います。まずは、5月に大学でお会いしましょう。総会へのご参加お待ちしております。

【筑紫女学園報】送付について

学園全体(幼稚園～大学)の様子をお伝えしている学園発行の学園報を希望される方にお配りします。角2封筒(33×24cm位)に送付先の郵便番号・住所・お名前をご記入の上、140円切手を貼り紫友会事務局までご送付ください。最新号をお送り致します。又は学園ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.chikushi.ac.jp/cjreport/>

筑紫女学園報 検索

- *先生方の肩書は令和5年3月31日現在です。変更の場合は、ご了承ください。(1～3面)
- *「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。(6面)

令和3年度 紫友会会計報告

自: 令和3年4月1日 至: 令和4年3月31日
(単位: 円)

一般会計	
【収入の部】	決算額
前年度繰越金	13,341,723
入会会費 (10,000×675名)	6,750,000
協力費 (349件)	957,228
預金利息	33
雑収入	0
合 計	21,048,984

【支出の部】	決算額
総会費	0
印刷製本費	1,528,273
通信費	1,732,021
支払手数料	67,790
会議費	177,045
事務経費	1,803,555
入学記念品費	425,771
備品費	8,000
慶弔費	133,000
消耗品費	14,105
雑費	26,713
奨学金基金へ繰出	500,000
特別会計へ繰出(母校支援)	1,000,000
次年度繰越金	13,632,711
合 計	21,048,984

特別会計

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	4,996,281
一般会計より繰入(母校支援)	1,000,000
協力費(その他)(12件)	99,000
預金利息	73
合 計	6,095,354
【支出の部】	決算額
在学生就職活動支援	1,000,000
在学生支援(コロナ禍食料品支援他)	216,450
在学生支援(令和2年度卒業式動画DVD)	752,620
支払手数料	935
次年度繰越金	4,125,349
合 計	6,095,354

奨学金・奨励金基金会計

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	14,735,330
一般会計より繰入	500,000
奨学金・奨励金基金(118件)	508,000
預金利息	198
合 計	15,743,528
【支出の部】	決算額
紫友会奨学金・奨励金給付	1,450,000
支払手数料	2,090
次年度繰越金	14,291,438
合 計	15,743,528



本棚の前で思うこと

文学部・英語学科 准教授 高森 暁子 先生



音楽を楽しむ場所は専ら通勤の車の中だった。が、もういまの車にはCDプレーヤーがついていない。スマホをカーナビに接続し、配信サービスの音楽を聞く。圧倒的な数と種類の膨大なコレクション。ありすぎて、かえって手が出ない。音楽の大海原への漕ぎ出し方がわからないから、漕ぎ出さず波打ち際について、いつものお気に入りの曲を聞く。そのうちどこからか流れ着いてきた懐かし

今だから、思うこと

人文学部・人文学科 教授 高木 佳世子 先生



筑女に来て七年目になりました。社会の課題と向き合い真剣に学ぼうとする学生たちに日々接することができる喜びを感じています。教員になった今、大学時代の先生のことを思い出します。先生はご自身の研究や活動に邁進され、学生のご温かく見守るタイプで、いくつかの文献は示されるものあまりあれこれ口出しされず、勉強はゼミの先輩

子どもの遊びの熱中は邪魔しないで

人文学部・人文学科 初等教育 准教授 原 陽一郎 先生



今年のサッカーワールドカップでの日本代表の活躍は素晴らしいです。日本が強豪国のドイツとスペインに勝つなんて、世界中のサッカーファンで予想していた人はいなかったのではないのでしょうか。このような時、選手は「ゾーン」に入っていたと言われます。これは「フロー」とも言われ、集中度が高まってその状況に必要な情報のみがクリアになっている状態であるとされています。私たちも遊びや仕事で、

に教えてもらいました。今の私は学生から聞かれたこと(ときには聞かれていなくても)先回りして答えているようです。前職(弁護士)時代は、私自身が速く答えを出すことが求められていたのですが、今は学生が自分で答えを出せるように援助するのが仕事、と、頭ではわかっていても、あんなの先生が手取り足取り指導されなかったのは、学生の学びを奪わないためだったので。自分で答えを出せるように援助することは難しいですが、日々心掛けていこうと思います。

「ゾーン」に入ったような感覚になることがあります

これが生み出されるのは、幼い頃から熱中して遊ぶことをたくさん経験して、脳の興奮を自ら作り出せるようになることが基礎です。二歳前の子どもは、石を側溝の穴にポトンポトンと落としたりしています。そんなときは「おーゾーン」に入ったな」と見守ってあげることも大切ですね。

一方で、スマホなどが手放せないのは、刺激によって与えられた脳の興奮です。だから疲れずに延々とできるんですね。これに慣れてしまうと、自ら脳の興奮を生み出して「ゾーン」に入るようなことは出来なくなってしまうかも……

今だから、正解！

文学部・日本語・日本文学科 准教授 大内 英範 先生



令和四年四月、本学に二度めの着任となりました。前回は平成二十五年からの三年間の勤務でした。離任は、いろいろとやむを得ないことではありましたが、大変残念で、もつと続けたいという思いが強かったのを憶えています。

東京の研究機関に勤めはじめた平成二十八年、二年の間に家族を三人、続けてなくしました。

折り返し点をとくに過ぎた

である。私が人生ですが、思い返すと、やむを得ず残念な選択を何度もしているようです。でも、そのそれぞれを、後になって今だから、正解だった！と思うことになり、前を向きたいと思えます。そして改めて、今度は長く勤められますように。

日頃の「当たり前」を大切に

文学部・アジア文化学科 講師 安 在瑛 先生



長年住んでいた京都大阪から福岡に移住し、昨年四月にアジア文化学科に着任しました。世界中の人々がコロナ禍に苦しんでいる中、私自身も韓国の親に四年も会えずにいましたが、やっと日韓両国の渡航制限が緩和され、五歳になった自分の娘を白髪が増えた祖父母に久しぶりに会わせてきたところです。家族に会いたいときに、会いに行

無駄と回り道

現代社会学部・現代社会学科 准教授 野中 亮 先生



コロナ禍以降、読書の機会が増えた。現地調査等に使っていた時間を屋内で過ごす読書等に置き換えたためだ。

読書とは、読んでみなければ何が得られるかわからない。探検のような作業である。目的のついた知識だけでなく、思わぬ気づきや刺激を得られるものだ。そうでなければおそく読書は失敗だ。もちろん、冒険には成果の保証はないのだから、「空振り」もおきる。つまり、読書

は、時間の無駄と回り道を覚悟

しなければならない作業でもある。しかし、そもそも学びとは、さまざまな挑戦や失敗から予想外の気づきや刺激を積み重ねて、人が熟成されていく過程のことではなかったか。逆に、こうした無駄と回り道を省いた学びは、「付け焼き刃」の危険と隣り合わせだ。

「コロナは予想外の試練ではあったが、我々がこの経験から気づきを学びに変換できれば、つまり社会の成長に結びつけることができる。いざ、今にして思えば」と笑って言える日がくるにちがいない。

今だから、思うこと

文学部・アジア文化学科 二一回生(二〇二三年卒) 宮原 晴香



十二年前の三月に地元の短大を卒業し、四月に筑女のアジア文化学科三年次に編入しました。

編入した理由は、アジアの歴史や文化に興味があったことや、博物館学芸員の資格が取れる事でした。

実際編入した時は、三年次の授業はともかく、二年次の必修科目も受けなければならず、最初の一年は大変でした。そのため受けたかった授業を何科目か

諦めなければなりません

た。短大時代の先生からは「卒業までに三年かかるよ」と言われましたが、新たな目標として「二年で卒業する」ができました。

アジア諸国の歴史や文化に触れ、授業で九州国立博物館や立花家史料館、大宰府政庁跡などを見学し、日本の歴史や文化も学べた気がします。心配だった卒論も無事に書き上げました。

無事二年で卒業し、卒業後は博物館や美術館によく行くようになり、司書の資格を持つようになったので図書館に五年勤務しました。今振り返れば大変でしたが、充実していた大学生活でした。

心豊かな人生に

短期大学・国文科 十七回生(二九八三年卒) 高柳 和加子



還暦を迎えた節目の年に、この様な原稿依頼をいただき、過去、現在そしてこれからを考える良い機会となり、ありがとうございます。

本学で、教員免許状を取得したことをきっかけに三十数年、小学校教師として、働くことができた。子育てや介護と仕事を両立しながら、毎日厳しい日々に追われたが、何とか乗り越える

ことができた。

三年前に早期退職してから、旅行、料理、断捨離、日本刺繍、英語、ウオーキング等、今までできなかったことに積極的に挑戦している。これまで知らなかった世界が広がり、知識を得たり、人々と出会ったり、人生を楽しみ、多くの喜びを味わえている。

十二月からは、民生委員、児童委員に就任することになった。これからはしっかりと地域貢献もしたい。さらに視野が広がり、心豊かな人生になればと願っている。

今思うこと 言葉と私

短期大学・家政科 十二回生(二九七九年卒) 有岡 裕子



今の会社に転職して約十年が経過した頃、大人になって初めての手術入院を経験した。聖典と共に入院して、医師、看護師さん等の説明や処置が始まったのだが、皆さんの問いかけに対し、会員の仮面を外した私の口から出た言葉は、まさかの「うん」や「そっだよ」他タメ口の数々だった。社会人になって約二十年、会社の上司や関係者、クライアント

トとの打合せや説明は日常だった。

挨拶やマナーはひと通り身につけ、失礼のない振る舞いや言葉遣いをしてきたつもりだった。しかしそれは、ビジネス上の決まり文句や説明ができていくにすぎなかった。挨拶も敬語もろくにできない自分に気がついた私は、言葉を豊かに、教養も身につけたいと思ひ、文学に触れようと考えた。当時から仕事も忙しく、思う様に時間が取れない毎日ではあるが、自分なりに勉強し、自分の口から発する言葉をもっと大切にしたいと思っている。

卒業式に寄せて

文学部・英語学科 四回生(二九五年卒) 伊東 真知子 秋山



母校の筑紫女学園中学校、高等学校で教鞭を執る出会いに恵まれ、令和四年三月三日に担任を勤めさせて頂いた高校三年生のクラスの卒業式を迎えることができました。卒業式当日は事務室前に代々受け継がれてきたお雛様が飾られ、女子校の伝統を受け継ぐ筑紫女学園ならではの雰囲気にも包まれた卒業式と

なりました。

生徒の皆さんが、筑紫女学園中高在学中、部活動や学習、校外活動や生徒会活動などの様々な形で自己実現をしている姿に筑女生の活発さと生きる力を感じていました。時に悩み、壁を感じても再び立ち上がり何事も最後までエネルギーを注いでやり遂げる姿を誇りに思っています。高校三年生の皆さんの姿から、未来と自分を信じて進む筑女生の力を感じました。このよ

筑女に進学してよかった

人文学部・人文学科 初等教育コース 三回生(二〇二三年卒) 太坪 紗織 川本



私の「今だから、思うこと」は、筑女に進学してよかったなという事です。その理由は、小学校の先生という夢が叶い、大切な友人に出会えたからです。

小学校の先生は大変なこともたくさんありますが、やり甲斐のある仕事だと感じています。子どもたちは、とてもかわいいです。教員四年目、二年生の担任時にクラスの子が「おとなになったら、ぼくも先生になりたい」とお

もついています」と教えてくれました

た。将来、教えると一緒に働ける日が来たら素敵だなと思っています。

また、大学時代の友人とは今でも交友関係が続いています。昨年は、娘も連れてご飯やお花見に行きました。近況を報告し、学生時代の思い出話にも花が咲き、あつという間に時間が過ぎてしまいました。大学を卒業して、お互いにライフステージが変わっても、こうやって連絡を取り合える友人に出会えてよかったなと思います。遠方のため、なかなか会えない友人もいます。また会えたら嬉しいですね。

心豊かな人生に

短期大学・国文科 十七回生(二九八三年卒) 高柳 和加子



還暦を迎えた節目の年に、この様な原稿依頼をいただき、過去、現在そしてこれからを考える良い機会となり、ありがとうございます。

本学で、教員免許状を取得したことをきっかけに三十数年、小学校教師として、働くことができた。子育てや介護と仕事を両立しながら、毎日厳しい日々に追われたが、何とか乗り越える

ことができた。

三年前に早期退職してから、旅行、料理、断捨離、日本刺繍、英語、ウオーキング等、今までできなかったことに積極的に挑戦している。これまで知らなかった世界が広がり、知識を得たり、人々と出会ったり、人生を楽しみ、多くの喜びを味わえている。

みなさんこんにちは。学長の中川でございます。本日はこのような対面の形で、第55回紫友会総会が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。コロナ禍発生以来、石川会長はじめ役員の皆様方におかれましては、総会開催のご判断に苦慮されたことでしょうか、今回の総会開催にあたりまして、いろいろな苦労があったのではと拝察するところでございます。そのような中、遠近各地より、ご縁ある卒業生のみならず、会員のみならず、またご関係の教職員の皆さん方ご列席のもとに、対面で開催されますことを、改めて学長としてもお祝いを申し上げ、うれしく思うところでございます。

少子高齢化、特に18歳人口の減少というところに加えてコロナ禍の影響を、非常に厳しい現実として、大学、特に女子大は受けております。その中にありまして、一人でも多くの学生に、それぞれの目標を持って本学に集って頂き、社会へと繋いでいきたいという強い思いを持ちつつ我々教職員、また理事会を含め学園の運営に携わって頂いております皆様方と心をひとつにして日夜、教育研究運営に励んでいるところでございます。

コロナウイルス感染拡大により多くの学生がその影響を受け始めた2020年、福祉コースの先生方を中心に緊急アンケートを取って頂きました。そこで見えてきたのが、食料品が買えない、日用品が買えないという状況に置かれている学生が非常に多いということです。早速、真に困窮している学生に直接届く支援を行っていくという方針をたて活動を開始したところ、様々な企業や自治体そして紫友会から多大なご支援を頂きました。紫友会による食料品や日用品の支援につきましては、今日に至るまで継続して頂いて

第55回紫友会総会 中川学長挨拶

二〇二三年六月十日(土)

おります。また、紫友会からは奨学金奨励金も毎年頂いておりますが、その奨学金も、コロナ禍によって緊急に家計が困窮し就学を続けていくのが難しい学生がいる場合には、枠を広げ特別に対応いただくという役員の皆様方の計らいもございまして、学生にとって大きな励みとなっておりますことに厚く御礼を申し上げます。

このような状況ですので、今年の3月に卒業しました学生たちには就職活動もたいへんでしたが、お蔭をもちまして98%を超える就職率を上げることができました。これは、教職員一同の支援、もちろん学生一人一人の頑張りもございましたが、毎年紫友会より就職活動に向けて学生に贈呈いただいております冊子「アヴニール」の存在も本当に大きかったと思います。このコロナ禍の中にあつて、就職試験ではどのような面接があり、どんな質問が来るんだろう、どんな準備をしたらいいのだろうかと戸惑う学生たちにとって、先輩による就職試験体験情報満載の「アヴニール」が例年以上に支えになっていると思います。

このように就職率が高いということは、やはり卒業生の皆さん方が社会に出て活躍しておられる、そしてまた、今年で百十五年目を迎えます筑紫女学園の長い伝統の上に立っている結果ではないかと思っております。本学が進めております企業・団体・自治体との社会連携におきましても、多くの卒業生、紫友会会員の皆様にお世話になるご縁が少なくありません。

これからも、学生一人ひとりの成長と自己実現のため、学生支援筑女サンガ(集い)の重要な構成員として、紫友会ならびに会員の皆様にご支援いただきますようお願いを申し上げます。総会にあたっての挨拶といたします。



紫友会から在学生へ「就職情報誌アヴニール」贈呈

「就職情報誌avenir」は2001年ミレニアム記念の年に発行以来、毎年、在学生支援として、就職活動を開始する3年生に紫友会より贈呈しています。体験談やメッセージ、アドバイス等、各学部の先輩から後輩へ心をこめて残されています。採用試験報告書は細かく業種、社名別に整理され、自分が知りたい業種、希望する会社を直ぐさま詳細に調べることができ、就職活動を始める学生にとっては、まさに「待ってました!!」の1冊となっています。また、過去5年間の就職先一覧なども掲載されています。



声 声

勤務先の高校から本学へ進学する生徒が多くそのたびに「後輩たち頑張れー」と背中をエールを送っています。本学で得るご縁はきっと未来の貴女を作る栄養になるよ！いつも話します。

大学・日本語・日本文学科二回生 (一九九三年卒)

◆ 大学生活の四年間はあっという間に過ぎていきます。また、社会に出て四年間もあつという間でした。過去を豊かにするのにも空虚なものへとするのにも自分自身です。学生のみならず、健康に気をつけながら、勉学に励みますように。

大学・日本語・日本文学科二六回生 (二〇一七年卒)

◆ いくつかの先輩にも向学心は大変だなあと思います。履修証明プログラム(このような支援事業がどんどん増えていくといいな！と願っています)

大学・英語学科三回生 (一九九四年卒)

◆ コロナのため日本に二年帰られていません。今年の夏は帰国できるといいなと思っております。病気・戦争と世の中が変わって来ていますが、筑紫女学園大学が前進しながらも変わらず見守っていてくれる気がします。

大学・英語学科十四回生 (二〇〇五年卒)

◆ 毎年送ってくださる会報を受けとりました。当方、イギリス在住にも関わらずいつもありがたうございます。

大学・英語学科十五回生 (二〇〇七年卒)

◆ 若草色の封筒を見て「もうそんな季節になったのだな」と感じます。皆様方の写真が明るく懐かしいお顔を拝見して嬉しくなりました。

大学・アジア文化学科二七回生 (二〇一八年卒)

◆ 私が書いた文章が載る！とソワソワしながら読みました(笑)。コメントにでもなつた気分です。(笑)

大学・人間科学科二回生 (二〇一六年卒)

◆ 「コロナ」という目に見えぬ物に対して人類がグローバルな視点で対峙している中で、今起きている殺戮の映像にも心痛みます。在学生の皆様も、「学びの場」に居る事を許されていく事に感謝して、自身をより良く変化させて下さい!

短大・幼児教育科二一回生 (一九八七年卒)

◆ 短大の時に取得した中国語教諭免許が端に発し、その後小学校教諭免許も取得し、二十六年間、教壇に立つことができました。母校に感謝しています。これからは少しでも社会に恩返しできればいい、初めて母校への恩返しを思い立ちました。母校の益々の発展を微力ながら応援し続けたいと思っております。

短大・国文科十七回生 (一九八三年卒)

◆ 自律・和平・感恩はリカレント教育のキーワードです。

短大・国文科六回生 (一九七六年卒)

在学生支援

令和4年度紫友会学生支援奨学金・奨励金授与

在学生支援の一環として、奨学金・奨励金授与を年に2回行っています。令和4年度は、奨学金を5名に、奨励金を「東日本大震災ボランティア」「軽音楽部」「ソフトテニス部」の3団体に授与しました。また、奨学金につきましては、長引くコロナ禍の影響等で奨学金を希望する学生が増えたため、臨時的奨学金給付も行いました。



令和4年6月 東日本大震災ボランティア(総会での授与の様子) 令和4年11月 後方左:軽音楽部、後方右:ソフトテニス部

奨励金:クラブ、サークル活動、ボランティア活動、ゼミ活動を通じての地域貢献活動など、自主的な活動において高い目標、計画を持ち積極的に活動、実現している団体、個人を奨励することを目的としています。

食料品支援

「コロナ禍で困窮する学生へ支援を」と卒業生からのご協力もあり、令和2年度から引き続き食料品支援を行っています。今後も支援を必要とする学生のために、食料品等支援を続けて参ります。



紫友会学生支援奨学金・奨励金 ~発足から17年~

平成18年度に紫友会学生支援奨学金・奨励金が発足されて以来17年が経ちました。これまでに、奨学金は延べ52名の学生に、奨励金は延べ45件の団体に授与することができました。これもひとえに皆様からのご協力の賜物と感謝申し上げます。また、今後、給付枠をさらに広げられるよう多くのご支援をよろしくお願い致します。

今回、第1回奨励金を授与された、文学部人間福祉学科16回生の河村亜沙子(旧姓佐藤)さんに当時の活動などについて振り返って頂きました。河村さんは在学中、聴覚障がいのある友人が十分な講義を受けられるよう、教職員の言葉や音声を手文字にして伝えるノートテイクの支援を最初に行い、現在の学生ボランティア団体MSG (Mutual Support Group) を発足して基礎を作りました。その功績に対して、また、活動を支援するために紫友会より第1回奨励金が授与されました。

第1回奨励金を受給して

文学部人間福祉学科 16回生 (2007年卒) 河村 亜沙子 (佐藤)

教授の顔や表情を必死で見て講義を受けてる友人を見て、私に何かできないかと思ったことがきっかけでした。当時は、友人が今の環境よりよくなれば、少しでも役立てばという思いで動いてましたが、今考えれば全て自分のためだったなと感じます。ノートテイクするための知識や技術の取得、講義内容を理解するため予習復習などしてました。

先日、約20年振りに大学のホームページをのぞくと、私が発足したMSGが続いていること、講習会や活動を頑張っている後輩たちがたくさんいること、助けてもらいながら夢に向かって頑張っている学生がたくさんいることに喜びを感じています。

大学時代に必死でしたことは、社会に出て自信につながります。「人のために動くことが自分のためになること」とあとから気付きます。悩んでる方は是非、チャレンジしてほしいです。きっとサポートしてくれる友人が近くにいます。仲間がいます。それが筑女だと思えます。

- 17年間の間で奨励金を授与した団体・個人
- ノートテイク立上げの功労者(個人2名)、トリアスロン部、太宰府歴史英会話サークル、MSG、剣道部、県人会、アルティメット・フリスビー部、書道部、フィルハーモニー管弦楽団、合気道部、バスケットボール部、弓道部、Little Hands、バレーボール部、琴曲部、ストーリーハウス、民族舞踊研究部、Caapa、ラククロス部、ソフトテニス部、Free's Soul、LCスタッフ、東日本大震災ボランティア、軽音楽部

在学生支援等へのご協力をお願い

- 紫友会では、同窓会としての安定した会の運営や在学生支援の為に左記協力費をお願いしております。
 - 〇協力費(同窓会活動運営費)
 - 〇奨学金・奨励金(在学生支援)
 - 〇その他
- ご寄付頂きました協力費は、会の運営に大いに活用されています。
- また、在学生支援の一例として、入学後、経済状況が急変し、学業継続が困難になった学生に奨学金を給付、クラブ、サークル活動、ボランティア活動、ゼミ活動を通じての地域貢献活動など自主的な活動において高い目標、計画を持ち積極的に活動、実現している団体、個人に奨励金を給付しています。
- 活発な会の運営ならびに在学生支援をさらに増やせるよう、是非とも会員の皆様方のお力添えを賜りたく、ご賛同ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

上記 協力費および奨学金・奨励金などは、下記の方法で随時受付(1口1,000円<何口でも可>)

- ① 郵便局より同封の振替用紙にて郵便振替
- ② 銀行からのお振込み

金融機関名	ゆうちょ銀行
店名	一七九(イチナナキユウ)
店番	179
預金種目	当座預金
口座番号	0044769
加入者名	筑紫女学園大学同窓会紫友会
- ③ 紫友会事務局にて受付

※なお、紫友会からお電話で寄付のお願いをすることはありません。

ご協力ありがとうございます!

昨年度もたくさんの方の先生方、卒業生の皆様にご協力を頂きました。ありがとうございました。これからも、ご協力いただいた方々にはお礼状を出させて頂いてまいりましたが、昨今、お礼状は不要とお声がけを度々頂くようになってまいりました。お声がけをさせて頂いて、次年度「紫友第42号」より、誌面へのお名前と回生の掲載をもってお礼状の代わりとさせて頂きます。なお、誌面への掲載も不要の場合は振込用紙内の「誌面掲載 否」をご選択ください。

今後とも皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。



学園ホームページ <http://www.chikushi.ac.jp>

学部・学科一覧

入試・広報に関するお問い合わせ先 入試・広報班 TEL (092)925-3591

文学部

日本語・日本文学科
英語学科
アジア文化学科

人間科学部 人間科学科

心理コース
社会福祉コース
初等教育コース
幼児保育コース

現代社会学部

現代社会学科

大学院

人間科学コース
臨床心理学コース

最新情報はホームページで! *随時更新していますので、ご確認ください。
*大学案内など必要な資料がございましたら、無料でお届けいたします。



進路支援班

ボランティア活動支援センター

●ボランティアの活動状況

2018年6月から「ボランティア活動支援センター」を窓口とし、関係部署と連携しながら学生のボランティア活動を支援しています。地域の施設、企業、学校等から寄せられたボランティア情報をポータルサイトに掲示し、参加希望者の受付・派遣を行っています。2021年度は延べ2777名が活動に参加しました。コロナの影響で行事等のボランティアについては募集自体が減少する中、ソーシャルディスタンスへの配慮が可能なものについて関係者と協力して実施しています。なお、ボランティア活動につきましても、本学ホームページに活動の報告を掲載しております。



東峰村(九州北部豪雨ボランティア)インドカレーふるまい

ご支援(寄付など)のお願い

今後も継続してボランティアの活動を行っていく予定です。ご支援をいただける方は、下記お問い合わせ先にご一報ください。

【お問い合わせ】

ボランティア活動支援センター
TEL092(925)9578

図書館

図書館ホームページアドレス
<https://www.lib.chikushi-u.ac.jp/>

卒業生の皆様も図書館の利用ができます。「図書館利用者証」を発行しますので、身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をご持参ください。

- 開館日・利用時間...【原則】平日(開館日) 9:00-19:30
補講が行われる土曜日 9:00-14:00
※学校行事や定期試験・休暇中など開館日・開館時間が変わることがあります。
開館日・利用時間は、図書館ホームページカレンダーにてご確認ください。
利用者証発行手数料...400円(4年間有効)
※1号館1階の自動証明書発行機で証紙をお買い求めの上、8号館図書館カウンターで手続きください。
貸出冊数・貸出期間...3冊以内(15日間)
コロナ禍のため、卒業生の方のご利用は、ご遠慮いただいております。

戸崎 宏正 先生 (元短期大学教授) 令和4年5月
小山 一行 先生 (元大学アジア文化学科教授 元大学・短期大学部学長) 令和4年8月
上山 大峻 先生 (元大学学長) 令和4年12月

教務班

【お問い合わせ】 TEL 092(925)3514

卒業証明書・成績証明書等の申込みを受け付けています。申込の詳細は本学ホームページ「卒業生の方」にてご案内しています。

- * 学力に関する証明書など特別な証明書は発行に2週間程度かかります。早めのお問い合わせをお願いします。
* 夏季休業:8月11日(金)~16日(水)
* 年末受付:~12月27日(水)
* 年始受付:1月9日(火)~

本学ホームページ
筑紫女学園大学
卒業生の方
「証明書について」

卒業生総数
大学 14,752名(大学院、編入生含む)
短期大学 29,301名
44,053名
2022年4月現在



LCスタッフ

この度は、紫友会様の奨励金をいただき、誠にありがとうございます。私たちLCスタッフは、学生が学生のために学習支援を行うボランティア団体です。人に教えることで自分自身も学ぶことを目標として日々活動しています。主な活動は「ピアサポートコーナーでの学習に関する質問・相談の受付」と「基礎学習講座」です。基礎学習講座はスタッフ自身が講師となり、大学の学習に不安を抱く新生へ向けてレポートの書き方・テスト対策の仕方などの解説をする講座となっています。また、昨年度は新しい活動として成城大学主催のピアサポートアイスカッションに参加し、今年度は基礎学習講座の総まとめ冊子である「すき本」の作成を行いました。経験したことを糧に、これからも学生生活がより良いものになるように精進していきます。



職域訪問

同窓生へ一言

株式会社かわでん 原 静香
(文学部 英語メディア学科 二十七回生)

「スイッチを押せば明かりが灯る」日々の暮らしの中
のありふれたワンシーン。しかし自然災害で電力がダウン
したとき、ありふれた日常は多くの人の手によって支
えられていることに気付かされます。
大学を卒業し、はや五年。私の仕事である電気設備設
計士は、普段人の目に映ることはありませんが、皆さんの
生活の一部である電気の一端を担う仕事です。決して
華々しくはないイメージかと思いますが、手法や商品が
短時間でダイナミックに変化していく職種です。インフ
ラは、私たちの日常に当然のようにあるものですが、当
たり前のことを当たり前と思えるのはそれを陰で支
えている人達がいるから」という事を伝える機会が増え
ました。
普通に生きていけば、気づきませず、見えないことや
感じるものが出来ないことが多々あります。これから
先人の思いや努力、そしてその
背景に心を寄せることが出来る
人でありたいと思います。そして
「当たり前」の裏側に多くの人が
いることを忘れないうちに、感謝
の気持ちを持って気づけるよう
に「くもりなき眼」でこれからの
人生を生きていきます。



左から2番目原 静香さん

卒業生のための学びのかたち

社会に出て新たに学びたい、改めて学びたいという気持ちにお応えしたいと思っています。ぜひお問い合わせください。

●科目等履修生・聴講生受け入れ制度

興味のある科目を受講し、単位認定される「科目等履修生制度」、単位の修得を希望しない「聴講生制度」があります。生涯学習の場として、学びの気持ちを支援します。

【お問い合わせ先】 教務班 TEL 092(925)3514

●大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 修士課程(男女共修)

2019年度より大学院を改編し、人間科学研究科人間科学専攻に「人間科学コース」「臨床心理学コース」を設置しました。臨床心理学コースでは、公認心理師受験資格および臨床心理士受験資格に対応するカリキュラムを用意しています。

＊卒業生だけの優遇制度＊

- 筑紫女学園大学短期大学部(または旧短期大学)を卒業した方も出願可能です。学びを深めるチャンスが広がります。
●筑紫女学園大学または筑紫女学園大学短期大学部(旧短期大学)を卒業後、本学大学院へ入学した学生には入学金相当額を給付します。

●社会人特別入学試験

学ぶ意欲のある社会人を受け入れる制度です。正規学生として深く専門的に学びたいという気持ちに応えます。

●編入学試験

短期大学・大学を卒業された方等を対象とし、3年次に編入学する制度です。

※出願はインターネットで受け付けております。入試要項等は本学ホームページにてご確認ください。

【お問い合わせ先】 入試・広報班 TEL 092(925)3591

2023年度 筑紫女学園大学 公開講座(受講料無料)

本学公開講座は「仏教・歴史・語学・子ども工作」など、年間を通して様々な講座を開設し、学びの場を提供しています。どなたでも参加できます。ぜひ、ご参加ください。公開講座についての詳細は、右記QRコードよりご覧ください。(お申込方法) FAX・メールまたは大学のホームページよりお申し込みください。

CHECK! 最新情報を掲載中!



【お問い合わせ先】 社会連携センター TEL 092(925)9685

令和5年5月20日(土)
総会第二部 / 公演 11:45~12:45

筑紫女学園大学 民族舞踊研究部

本学「民族舞踊研究部」は歴史を遡り、短期大学の時代から少なくとも50年以上に渡って、歴史を共にして活動を続けてきました。サークルの中でも最も伝統のあるサークルの一つです。「民族舞踊研究部」に関する思い出をお持ちの同窓生もおられるのではないのでしょうか。

近年のコロナ禍など、時代の紆余曲折を経て絶え間なく活動を続け、今ようやくパフォーマンスを披露できるようになりました。パフォーマンスのレパートリーには、ロシア(モルダヴィニヤスカ)、トルコ(コニヤリ)、ハンガリー(カロチャイウグローシュ)、イスラエル(マイムマイム)など世界各国の特色ある、また伝統的な舞踊があり多彩です。衣装も各国の特徴を取り入れた衣装を代々先輩方から引き継ぎ、またさらに新しく製作するなど、魅力あるパフォーマンスに向けて活動の一環として努力や工夫をしております。部員一同、パフォーマンスの機会を与えてくださったことに感謝し、とても楽しみにしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



●仏教専修課程・浄土真宗本願寺派教師(住職)資格課程

福祉・家族・いのちの問題について考えたい、仏教の思想・文化・美術に関心がある方のために「仏教専修課程」を設けています。さらに「浄土真宗本願寺派教師(住職)資格課程」を履修し、本願寺派住職資格を目指すこともできます。両課程とも男性の受講が可能です。

～仏教学研究室 公開講座YouTube配信～

大学の仏教学研究室では、仏教関係の講義をYouTubeでオンライン配信しています。今年度は、5月に配信された全学礼拝・創立記念降誕会法要を配信しました。法話の担当は文学部准教授の川尻洋平先生です。仏教における慈悲についてわかりやすく紹介されています。仏教に興味をお持ちの方は、ぜひこの右のQRコードより入って動画をご覧ください。そして、さらに学んでみたいと思われた方は、本学の仏教専修課程にお越しください。



【お問い合わせ先】 大学総務班 TEL 092(925)3511

●履修証明プログラム 2023 女性のためのステップアップ・プログラム

～修了者には、履修証明書を交付します～
このプログラムは、社会人等の学生以外の方を対象とした特別な課程です。体系的な知識・技能等の修得を目指した教育プログラムで、目的と内容に応じて総時間数60時間以上で設定されています。詳しくは、下記QRコードよりご覧ください。

CHECK! 募集要項など掲載中!



「多様性が尊重される社会を作るためのプログラム」では、多様な社会の中で私たちに求められるスキルなど、普段の生活においても求められる内容となっており、毎回自身の学びに繋がっています。講義によっては現役大学生と一緒に受講するものもあり、それも良い刺激になっています。また全プログラムに共通して、履修期間がそれぞれ2~3年程度あるため、自身のペースに合わせて履修できるのも魅力的だと感じています。 F.Sさん(柳川市在住)

【お問い合わせ先】 女性活躍支援センター TEL 092(925)9685